

平成31年度 事業計画

一般社団法人 札幌建設業協会

はじめに

本道の景気は緩やかに回復し、公共投資や予算も上向きの状況が感じられているものの、建設業がその使命を達成し地域経済の一翼を担っていくためには、将来的に裏づけされた事業見通しの中で、安定した経営基盤を築いていくことが重要である。昨年本道を襲った台風や地震による甚大な災害によって、市民の安全、安心を守る建設業の使命や役割とともに、地域強靱化や社会資本整備の担い手確保の重要性についても再認識され、改めて、積極的に取り組んでいくことが期待される。しかしながら、技術者・技能者の高齢化が進む中で、建設業における担い手確保は、引き続き重要な課題であり、生産性の向上とともに職場環境や労働環境の改善など働き方改革の実現に向けて、関係機関と連携を密にして、より一層取り組んでいく必要がある。

このような状況を踏まえ、平成31年度の事業活動を、次の方針・計画に基づき推進することとする。

記

1. 公共事業予算の確保及び建設業の経営安定化に係る取組み

<理事会、土木、建築委員会、札幌部会所管>

(1) 公共事業予算の安定的な確保と社会資本整備の計画的な推進

平成31年度の北海道開発予算は7年連続増加で前年度比14.6%増の6,358億円が計上されるとともに、防災・減災・国土強靱化に係る臨時特別枠も設定され、公共事業予算の大幅な増加が見込まれているものの、建設業が持続的かつ安定的にその社会的使命を果たしていくためには、中長期的視点にたって予算を確保していくことが必要である。このため、あらゆる機会を通じて、国等における公共事業予算の確保と社会資本整備の計画的推進について北海道建設業協会と連携し政府等へ強く要望・要請していく。

①国、道、札幌市等への予算要望、働きかけの実施 など

(2) 建設業の経営安定化及び改正品確法などの取組み

公共工事の円滑な施工や品質確保及び適切な入札契約制度の改善に向け、国などの関係機関に働きかけを行う。また、幹部レベルや実務者レベルにおける意見交換会などを開催し、品確法の運用指針の実行性を図るとともに、

課題や情報の共有を進めるなどして諸問題の解決を目指すこととする。

- ①北海道開発局、札幌開発建設部との意見交換会の開催
- ②北海道建設部、空知総合振興局札幌建設管理部との意見交換会の開催
- ③札幌市幹部との定期協議、実務担当者ワーキングの開催 など

2. 人材の確保・育成及び雇用環境の改善等に係る取組み

＜労務、土木、建築、広報企画委員会所管＞

(1) 建設業の担い手確保・育成対策の推進

将来を担う高校生や大学生などを対象とした現場見学会の開催などを通じて、担い手確保を推進するとともに、会員企業における新入職員などの育成・定着に係る取組を実施する。

- ①工業高校生を対象とした現場見学会の開催
- ②大学生を対象とした現場見学会の開催
- ③会員企業の新入職員及び中堅職員に対する研修会の開催 など

(2) 建設技術の向上・継承及び雇用環境の改善に係る取組の推進

建設技術者の技術力等の確保と維持向上に係る取組や専門工事業団体との情報共有・意見交換など連携強化の取組みを引き続き進めるとともに、建設業従事者の賃金など雇用環境の改善に向けた取組を実施する。

- ①土木、建築委員会等における現場見学会の開催
- ②生産性の向上に関する技術セミナーの開催
- ③公共事業労務費調査賃金管理指導相談会の開催 など

(3) 働き方改革への対応及び労働安全衛生対策の推進

将来の担い手となる若年労働者の入職促進を図り、定着させていけるよう、週休二日制の導入や適正な労働時間の確保など働き方改革の実現に向けた取組や国などのモデル工事への積極的参加を促進するとともに、魅力ある建設企業の職場環境づくりへの取組支援を進める。また、併せて、外国人労働者の受け入れ対策をはじめ、会員企業が適切な事業活動を展開しつつ職場環境の改善に取り組めるよう、各種制度や事業発注における改善等について、必要な情報提供を行うとともに、円滑な執行に向けて関係機関に働きかけを行う。

また、建設現場に従事する技術者や職長等に対し注意喚起を促すとともに関係法令等の周知・徹底を図るなどして労働災害の防止に努める。

- ①働き方改革の推進に係る会議や意見交換会の開催
- ②外国人労働者対策や働き方改革の推進に関するセミナーの開催 など

3. 大規模災害への対応及び地域強靱化に向けた取組み

<地域強靱化対策委員会、札幌部会所管>

(1) 大規模自然災害への対応及び体制の整備

近年、台風や地震などの深刻な災害が頻発する中、防災・減災対策、災害対応等を担う建設業の役割が大きくなっている。このため、大規模災害等により生じる会員企業の被害を最小限に抑え、迅速に災害対応等に従事することを可能にする「事業継続計画（BCP）」の実効ある運用並びに国や北海道との防災協定に基づく応急対応の体制整備や訓練などを実施する。

- ①会員企業と協会事務局との BCP の合同訓練の実施
- ②道（札幌建設管理部）との災害時応急対策に係る共同訓練の実施 など

(2) 札幌市における地域強靱化の取組みの推進

札幌市は北海道の中核機能を有し、その強靱化は北海道の強靱化のみならず国の強靱化づくりにも資する。このため、国や道の地域強靱化基本計画を踏まえ、札幌市においても平成 28 年 1 月に「札幌市地域強靱化基本計画」を策定したところであり、当協会においても民間の視点にたつて札幌市の強靱化を推進するための施策等の検討を独自に行ったところである。今後は、これらの計画や検討が円滑に進められていくために、具体的な訓練を実施する。

- ① 札幌市との災害時応急対策に係る共同訓練の実施 など

4. 建設業のイメージアップ及び戦略的情報発信に係る取組み

<広報企画委員会所管>

(1) 会員企業への効率的・効果的な情報伝達の推進

国、道、札幌市から通知される膨大な多種多様な情報を効率的かつ効果的に会員企業に伝達する方策や仕組みについて検討を進め、会員サービスの向上を図る。

- ①改訂ホームページを活用した迅速かつ円滑な情報伝達などの実施
- ②定期的な札幌建協だより（メール形式）の発信（毎月 5 日） など

(2) 建設業のイメージアップにつながる広報活動の推進

社会資本整備の重要性や地域経済を支え地域の安全・安心を守る建設業の役割について地域社会から正しくわかりやすい形で理解が得られるよう、効果的な広報について検討や取組みを進める。

- ①行動宣言の発信・普及（行動宣言実践集の作成）

- ② PR動画「ただ今工事中（土木工事編）」（仮称）の制作
- ③ 建設産業ふれあい展への参加 など

5. コンプライアンスの徹底及び社会的責任活動に関する取組み

<総務、交通安全・暴力対策、建築委員会所管>

（1）建設企業の徹底したコンプライアンスの推進

「建設企業（団体）行動憲章」や「行動宣言2016」などに基づく会員企業のコンプライアンスの更なる徹底に取り組む。

（2）建設業の社会的責任（CSR）と社会貢献活動の推進

建設業の社会的責任と重要性がますます高まる中、地域社会から信頼される産業となるため、地域社会への貢献、地球環境への配慮など社会的要請に対応した取組みや活動を実践する。

- ① 札建協の日（5月30日）におけるクリーンアップ事業の実施
- ② CSR や暴力追放などに関する講習会・研修会の開催
- ③ 交通安全街頭啓発活動や暴力追放関連事業の参加
- ④ 札幌市少年軟式野球連盟へのラインパウダーの寄贈 など

6. その他の取組み

<総務委員会所管>

会員の結束力強化や地位の向上、親睦に係る事業及び協会の安定的な経営に向けた検討や実施に取り組む。

- ① 協会会長表彰の実施及び全建・道協会会長表彰への推薦・伝達
- ② 会員の結束力強化・相互交流の推進
（新年交歓会、総会懇親会、親睦ゴルフ大会の開催など）
- ③ 協会の経営安定化に向けた具体的な検討 など